



あつまれ！峰上の基地

齋藤日和、坂巻万里奈、西野茜

峰上ってどんなところ？

- 人口**2306**人

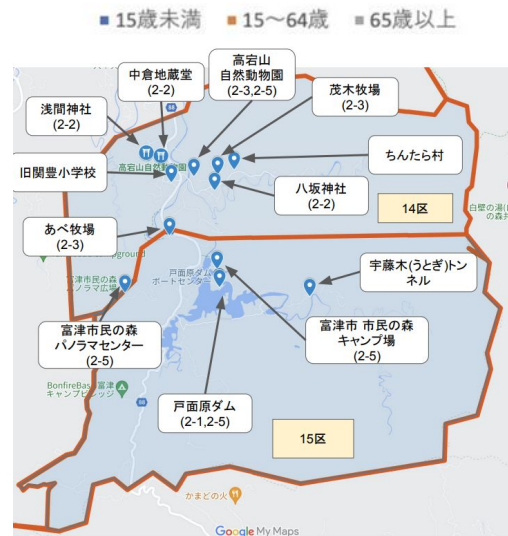
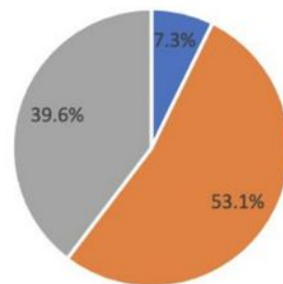
14区: 男122, 女128 計250人

15区: 男102, 女71 計173人

(令和4年度10月末現在)

- **高齢化、過疎化が進んでいる**
- **神社・牧場・農家が多い**
- **全体的に山が多い**

峰上地区の年齢階級別構成比



峰上の魅力

● 自然が豊か

- 四季を感じる事ができる
- 景色がきれい
- 過ごしやすい気候、 中山間地帯



峰上の魅力

- 観光資源が豊富
 - ・ダム釣り
 - ・キャンプ場
 - ・山



峰上の魅力

- ・高宕山(たかごやま)自然動物園
- ・パノラマ広場
- ・手掘りのトンネル



峰上の魅力

● 地域の特徴

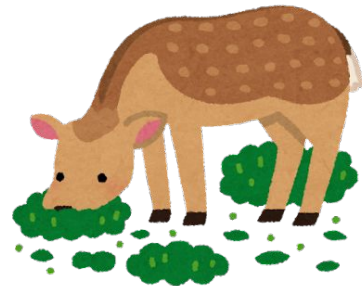
- ・首都圏(東京から車で2時間弱)
- ・田舎文化(日本文化)、ふるさと感がある
 - ...住民どうしの関わりの深さ、あたたかさ、自然の中の生活
- ・人が魅力的
- ・移住者に協力的、前向きな姿勢



インタビューから見えた課題

- 人がいない

- ➔ 1. 草刈りができない
- 2. 農作業が進まない
- 3. 獣害の拡大
- 4. 災害時の復興作業が進まない
- 5. 文化・魅力の継承ができない
- 6. 交通の便が悪い、商店ができない



インタビューから見えた課題

- 魅力を生かしていない

➡ 観光資源になりそうなものが整備されず手付かず
活用しきれしていない

- 地域を知ってもらえていない

➡ 人が集まるきっかけが少ない



住民がプランに求めていること

- 地域の受け継がれてきた伝統(人付き合い、自然など)を変えないでその良さを維持
- 自身もプランに関わりたい
- 実行するにあたって面白いもの
- 峰上に人が来るきっかけになる
- もっと峰上に興味を持ってもらえる
- 究極は移住者を増やしてほしい。ただ来るだけで終わらない

課題から導き出した案

関係人口を増やす

* 関係人口とは: 災害時などにその地域を自分事として考えてくれる人、その地域を認識して関わろうとしてくれる人



地域の魅力を発信、若者に主体的に考えて行動する機会の提供の必要性




「あつまれ！ 峰上の基地」



達成したい目標

- 峰上に興味をもってもらう
- 峰上の良さを知ってもらう
- 地域の人を知ってもらいたい
- 長期的には関係人口を地域の経済活性・移住等につなげたい



「来年も来たい」と言ってくれる人の数
(= 関心を持ってくれる人の数)を増やす

「あつまれ！ 峰上の基地」の概要

<テーマ>

参加者側

第二のふるさとを作る
自分で活動する経験を積む



峰上側

関係人口を増やす
地域に興味を持ってもらう
峰上文化を継承



「あつまれ！峰上の基地」の概要

運営主体

大学生(10~20人くらい)・地域住民・富津市

ターゲット

都会に住む小学生・大学生等の若年層

時期

春休み・夏休み・秋(シルバーウィーク)



「あつまれ！ 峰上の基地」の概要



何をするのか

ガールスカウトやボーイスカウトのように、
峰上に眠っている「魅力」を体験し、達成することで、バッジがもらえる

<例>

釣り(夏)・キャンプファイヤー(夏)・サルのえさやり・牛乳豆腐作り・秘密基地作り・農作業

金銭面

会員制(年会費約1万円を想定)

宿泊する 場合の場所

キャンプ場、シニア館



「あつまれ！峰上の基地」の概要



企画会（運営側）

運営大学生（インカレサークル）

サークル人員：初期は10人以上予定（発起人は自分たちから）

大学生はどのように集める？

東大むら塾のようなサークルにDMで等オンライン上で呼びかけし、徐々にメンバーを増やしていく

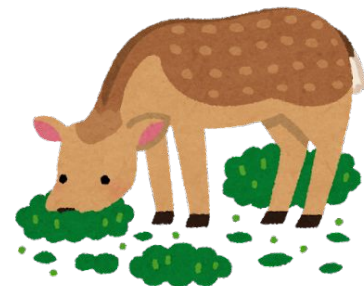
実行するにあたっての懸念点

- **地域住民・受入農家側の負担**
 - 地域の方々の協力が不可欠
 - 2年目からの農業開始(段階的に進める一面)
 - 1年目は住民とのコミュニティ形成に費やす。
 - 移動の問題
- **持続可能性**
 - リポートが重要(口コミで)



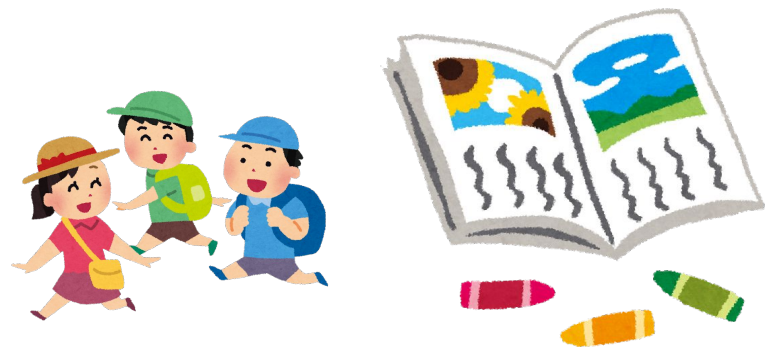
「あつまれ！峰上の基地」で期待できる成果（峰上側）

- 地域内の循環、資源を無駄にせず活用する
- 峰上に訪れる人を増やすことができる
➡ 人が増えることによる獣害軽減
- 関係人口を増やすことができる



「あつまれ！ 峰上の基地」で期待できる成果（参加者側）

- 小・大学生が非日常を体験できる
- 学び・楽しみの一環として地域に関わるきっかけにすることができる。
- それぞれの思い出の場所になる



ご清聴ありがとうございました！